

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（１）

都道府県名： 富山県

計画の名称： 南砺地域広域活性化計画

１）事業の実施状況

計画の整備方針	事業区分	事業名	事業実施状況	事業未実施の理由
①南砺地域における広域観光を支援する道路ネットワークの形成	基幹事業	道路事業（（主）砺波福光線 寺家～遊部）	○	
		道路事業（（主）利賀河合線 大勤場）	○	
		道路事業（（都）福野城端線 田中～吉江中）	○	

○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み -：事業を中止

２）目標の達成状況

計画目標	事業効果の確認方法	指標名	従前値	目標値	評価値
南砺地域の美しい景観、豊かな歴史・文化を活かした魅力ある観光資源に多くの観光客が訪ねてくること	計画で定めた目標指標	①観光客入込み数（南砺市） （県外観光客）	113万人（H17年）	125万人（H23年） （1割の増加）	116万人（H21年） ※H22から調査方法変更によりH23データ無し
	目標指標以外の成果指標	②観光客入込み数（延べ数） （五箇山）	71万人（H17年）	-	74万人（H23年） （H17比1.04）
		③インターチェンジ出入台数 （福光IC、五箇山IC）	1,018千台（H17年）	-	1,137千台（H23年） （H17比1.12）
	その他の定性的な成果	・「パノラマ富山発見ルート」による魅力向上 道路から美しい景観が見える場所（ビューポイント）をつなぎ、「パノラマ富山発見ルート」として県内外に広く紹介した。ビューポイントにPR・案内・解説看板を設置するとともに、観光案内所等でルートパンフレットを配布することにより、地域の魅力向上に努めた。			

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（2）

3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

事業効果の確認方法	計画で定めた目標指標	目標指標以外の成果指標	その他定性的な成果
		①観光客入込み数（南砺市） （県外観光客）	②観光客入込み数（延べ数）（五箇山） ③インターチェンジ出入台数 （福光IC, 五箇山IC）
事業効果の発現状況	・（主）砺波福光線等の道路改良工事の進捗により、高速道路ICと観光地とのアクセス性が向上し、観光客が増加した。	・（主）砺波福光線等の道路改良工事の進捗により、高速道路ICと観光地とのアクセス性が向上し、観光客が増加した。	・道路整備により、「パノラマ富山発見ルート」へのアクセス性が向上した。
外部要因の影響	・平成20年後半からは、世界的な金融危機による景気後退や新型インフルエンザの影響を受けて、全国的に旅行者が減少 ・平成23年は、東日本大震災の影響により団体客のキャンセルが相次ぎ、全国的に観光客が減少した。	・平成20年に東海北陸自動車道が全線開通し、中京圏等からの観光客が大幅に増加した。	・五箇山を中心とした市内の一部が自転車大会のコースになり、県内外の大会参加者が南砺市に訪問した。
目標達成・未達成の要因 （問題点の把握）	・観光客入込数の集計方法が変更されたため、H21年の値であるが、H23年の主要な観光地への観光客入込数も考慮すれば、目標は達成されたと考えられる。	・特に無し	・道路整備や「パノラマ富山発見ルート」の整備により地域の魅力向上に寄与できたものとする。
目標の達成・未達成区分	A		
全体計画の総合評価	・計画で定めた目標指標については、目標を達成することができなかったが、道路整備によるアクセス性向上や、市内観光地の魅力向上（城端におけるアニメなど）への地道な取組みなどにより、南砺市全体の観光客は増加傾向にある。		

- S：計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った
A：計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない
B：計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った
C：計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない

4) 事後評価の手続き

実施体制・実施時期	・部内評価にて確定（平成25年3月）
結果の公表方法	・富山県ホームページにて公表を行う。 URL： http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/index.html

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（3）

5) 今後の活性化方策の検討

①未達成目標の改善方策

計画で定めた目標指標	目標の達成状況	改善方策
①観光客入込み数 (南砺市) (県外観光客)	A	引き続き市内の幹線道路網等の整備を進めるとともに、観光拠点への案内標識を設置するなどして、観光客数の増加を目指す。

②今後の広域的地域活性化方策

石川～富山における広域交流活性化計画のもと、温泉や優れた自然景観、歴史、文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と富山県が密接に連携し、北陸新幹線や北陸自動車道等の交通結節点と観光拠点施設間、または拠点施設を相互に連絡する広域的な周遊ルートを整備することにより、交流人口を増大させ地域振興を図る。
また、両県が連携して、より広域的なPRを実施することで、広報活動の効率化を図る。

6) フォローアップ

計画目標	フォローアップが必要な目標指標	フォローアップ時期	フォローアップの公表方法

計画のポイント

計画期間：平成19年～平成23年

- ・東海北陸自動車道等の整備充実に伴い、飛騨・東海地方などとの広域交流の拡大が期待される南砺地域において、世界文化遺産「五箇山合掌造り集落」をはじめとする豊かな歴史・文化を活かした観光資源を連携させて広域観光の活性化を図る。
- ・そのため、東海北陸自動車道のIC等から観光資源へのアクセス道路や観光資源を相互に連絡する道路の整備を行う。



1. 計画の目標

南砺地域の美しい景観、豊かな歴史・文化を活かした魅力ある観光資源に多くの観光客が訪ねてくること。

2. 目標指標

目標

【県外観光客入込数】

約113万人(H17) ⇒ 約125万人(H23)

実績

【県外観光客入込数】

約116万人(H21) **H17比 1.03倍**

※調査方法の変更によりH23データ無し

(参考)

【五箇山観光客入込数】

約71万人(H17) ⇒ 約74万人(H23)

H17比 1.04倍

【インターチェンジ出入台数(福光IC、五箇山IC)】

約1,018千台(H17) ⇒ 約1,137千台(H23)

H17比 1.12倍

目標は概ね達成



3. 事業実績

- ・道路整備 (主) 砺波福光線(南砺市寺家～遊部) 本事業の範囲が整備完了
- ・道路整備 (主) 利賀河合線(南砺市大勘場) 本事業の範囲が整備完了
- ・道路整備 (都) 福野城端線(南砺市田中～吉江中) 本事業の範囲が整備完了

4. 全体計画の総合評価

計画で定めた目標指標については、目標を達成することができなかったが、道路整備によるアクセス性向上や、市内観光地の魅力向上(城端におけるアニメなど)への地道な取り組みなどにより、南砺市全体の観光客は増加傾向にある。